

# ビジネスクリエーター研究学会

## 第5回 国際ビジネス創造部会(10/12立教)報告

開催日時：2024年10月 12日（土曜日） 13:30～17:00

会場(対面)：立教大学池袋キャンパス7号館7302教室

今回も前回に引き続き東京都立産業技術大学院大学スタートアップ・アクセレーター研究所と共催の研究部会として、下記の要領にて開催しました。

参加人数：18名

内容は次頁以降を参照願います

# プログラム

13:30～17:00

1. 開催にあたって
2. 研究報告（報告30分、質疑応答25分）

13：35～14：30

- (1) 信田勝美氏（特定非営利活動法人品川クリエイティブラボ代表理事）  
「ものづくりからナレッジイノベーションへ  
ー地域と知識が生み出すプロジェクト組織ー」

14：35～15：30

- (2) 河合博子氏（立教大学大学院ビジネスデザイン研究科博士課程後期課程）  
「Metaverse Platform Ecosystemの研究  
ービジネスモデルとバンキングの機会、課題、戦略への示唆ー」

15：35～16：30

- (3) 安部綾氏（立教大学大学院ビジネスデザイン研究科修了生）  
「書店消滅時代の出版ビジネス」

3. 研究部会からのご連絡

終了は16：50頃を予定

# 報告要旨

## 第一報告

信田勝美氏（特定非営利活動法人 品川クリエイティブラボ代表理事）

「ものづくりからナレッジイノベーションへー地域と知識が生み出すプロジェクト組織ー」

要旨：「ものづくりからナレッジイノベーションへー地域と知識が生み出すプロジェクト組織ー」のテーマは、単なる製品開発にとどまらず、知識創造を通じて新たな価値を生み出すプロジェクト組織のあり方を論じる。地域に根ざした組織は独自の技術、文化、ネットワークを持ち、これらの要素がプロジェクト組織における知識創造の源泉となる。地域の特性を活かしたナレッジイノベーションでは、異なる分野やバックグラウンドを持つメンバーが協働することで、暗黙知と形式知を相互に変換し、新たな知識を創造するプロセスが重要である。特に、地域課題の解決や新しいビジネスモデルの創出を通じて、組織は製品やサービスの提供を超えた価値を社会にもたらすことが可能となる。このようなプロジェクト組織は、地域との共創を通じて持続的なイノベーションを実現し、次世代のものづくりをリードする存在となる。

# 報告要旨

## 第二報告

河合博子氏（立教大学大学院ビジネスデザイン研究科博士課程後期課程）  
「Metaverse Platform Ecosystemの研究 – ビジネスモデルとバンキングの機会、課題、戦略への示唆 –」

要旨：デジタル化の進展、Web3の登場、仮想通貨・NFT取引の実現、メタバース出現に伴い、多くの産業でメタバースを活用したビジネスモデルやメタバースバンキングが誕生した。メタバースとは、アバターを通じて体験するインターネット上の3D仮想空間を指し、価値創造と価値獲得、マネタイズの経済が展開される。研究の目的は、メタバースのビジネスモデルとマネタイズの進化を検証し、メタバース・プラットフォーム・エコシステムに関する知識のギャップを埋めることにある。本稿の問い、「メタバース上の価値創造と獲得のメカニズムはいかなるものか」「マネタイズの方法はどのようなものか」「マネタイズにおけるセキュリティ課題は何か」である。研究方法は理論統合と事例研究である。研究の貢献は2点ある。

- 1) 理論的整理からメタバースプラットフォームとエコシスのフレームを明確にしたこと。
- 2) 日本の銀行のメタバースバンキングで担う役割を示唆したことにある。

# 報告要旨

## 第三報告

安部綾氏（立教大学大学院ビジネスデザイン研究科修了生・株式会社  
サウンブックス社）

「書店消滅時代の出版ビジネス」

要旨：今年、書店が1店舗もない自治体が全体の27.7%、書店が1店舗のみの「無書店予備軍」ともいえる市町村と書店ゼロと合わせた比率は計47.4%に達しました。再販制度と委託制度に守られ、強固に築かれた出版流通の仕組みは危機に直面していると言われていています。長年にわたり多様な本の出版（年間出版点数6.7万！）を支えた仕組み、書店の衰退は、今後の出版にどのような影響を与えると考えられているのか。そのような中で注目されているいくつかの新しい動きについて紹介するとともに、発表者が実践する新しい出版サービスの事例について共有します。私たちはこれからどうやって本と出会い、どのような読書体験をするのか、みなさんと一緒に考察していきたいと思えます。

## 部会からの連絡と決定事項

- ・共催（共同開催）の必要性が出てきたときの対応
  - 部会長・副部会長の判断で可能とする。
- ・今後の部会の予定
  - 在台湾の部会員から参加要請のフォーラム（11/10）  
Healty Tainan Sustainable Development Exchange Forum  
主催：台湾SDGs協会など  
部会としては共催として事後的に「第6回部会」とする。
- ・部会メンバーリスト
  - 部会独自に管理する。
- ・来年度活動内容についての意見聴取
  - 本報告書の送信時に入れる。

Thanks for Listening

ご清聴ありがとうございます

Q&A